

No. 4 9 2025年 11月 2日	
聖徒の日・永眠者記念礼拝 説教『祝福を受ける者』 吉丸初美師	
司会 山根 眞三さん	
奏 楽 自動演奏機	
招 詞 IIコリント人への手紙 3章6節	
主 の 祈 (5 6 4)	
讃 詠 5 4 6	
交 読 詩 編 詩 6 2 編	
祈 禱	
讃 美 歌 21 - 1 0 9(1・2・3)	
使 徒 信 条 (5 6 6)	
聖 書 マルコ福音書 10章 2～16節	
説 教 (口語訳67頁、新共同訳81頁)	
『祝福を受ける者』	
祈 禱	
瞑 想 (永眠された方を覚えて)	
讃 美 歌 21 - 4 5 8	
聖 餐 式 (2 1 - 8 1)	
献 金	
感 謝	
報 告	
頌 栄 5 4 4	
祝 禱 / 後 奏	
次週の礼拝 (三位一体後第二十一主日礼拝)	
説教『憐れみ深くあれ』 ルカ福音書6章27節～38節	
招詞ローマ書8章 24～25節 / 交読詩篇 69 編	
讃美歌 546、21－473、21－576、539 / 1～16	
礼 拝 当 番	
今週 2日 司会 山根 眞三さん	
次週 9日 司会 市川 真美恵さん	
会堂清掃奉仕 11月 2日(日)	
コーヒータイム後に行います。	

本 日 の 集 会				
★教 会 学 校 午前9時45分				
★コーヒータイム 礼拝後～				
それぞれの思いを語り合しましょう。				
★11月定例教会役員会 会堂掃除後に行います。 教務・教勢報告、10月分会計報告、クリスマス関係 教会役員の健康と働きを覚えてお祈りください。				
今週の集会/スケジュール				
★聖書を読む会 11月4日(火)10時30分～12時				
※めぐみ幼稚園避難訓練 11月5日(金)10：30～ 消防・震災等についての避難訓練をします。				
🔔清鈴園礼拝奉仕 11月5日(水)午前11時～ 吉丸伝道師が説教奉仕に行きます。				
※めぐみ幼稚園礼拝 11月7日(金) 午前10時30分～				
次週以降のスケジュール等				
🔔広島キリスト教社会館バザー 11月9日(日)(雨天開催) 10時～14時 毎年恒例のバザーを開催！ 詳しくは掲示板のポスターをご覧ください。				
※学校法人広島西部教会学園理事会・評議員会 11月 9日(日)13：30～				
🔔広島キリスト教信徒会理事会 11月11日(火)11時～				
🔔広島拘置所教誨奉仕 11月12日(水)13時30～16時 施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。				
●レコードコンサート 11月16日(日) 13時～15時30分 ブラームス バイオリン協奏曲 ニ長調 作品 77 チャイコフスキー 交響曲 第6番 ロ長調「悲愴」				
※キリスト教保育連盟設置者・園長研修会 11月17日 (月)14:00～20:00 於：東京・お茶の水クリスチャン・センター 山根師が出席されます。				
★広島西分区分牧師会 11月18日(火)15時～17時30分 於：広島女学院大学				
先 週 の 集 会	男	女	計	
教 会 学 校	0	0	0	
主 日 礼 拝	3	7	10	
レコードコンサート	5	3	8	

◇今週の説教要旨(聖徒の日・永眠者記念礼拝)	
『祝福を受ける者』マルコ福音書 10章2～16節	
11月第一主日礼拝は天に召された方々を覚えて永眠者記念礼拝を守ります。私たちは、それぞれ愛する人との絆の中神の恵みのうちに結ばれて歩んできました。私たちの一生、出会い、そして別れも、すべては神の御手の中にあると思います。今日の聖書箇所は、再びイエス様がパリサイ人から試みに合う場面から始まります。それは、結婚と離婚に関する試みでした。当時のユダヤ人社会の議論的になっていた離婚の問題をめぐる、イエス様を困らせるための質問だったのです。その問いにイエス様は、創世記天地創造物語に示されている、神の創造の御心を話されました。ユダヤ人たちは自分たちに都合よく他者から非難を受けない離婚条件を探していました。何よりも、この事自体が既に神の御心に生きることから離れています。	
神は、同じ塵から男と女を造られました。そして、一人の夫に対して一人の妻が創造され、神の前では平等であることを示されたのです。その結果「神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならない」と言われました。イエス様はこの御言葉を通して、結婚は神の秩序によるものであることを示されます。	
マルコはこの離婚の直後に子どもたちの場面を続けました。ここで前半の離婚の話に出た妻と子どもに共通していることは、当時社会的に弱い者として見下されていた事でした。子どもを祝福してもらいに連れて来た人々を弟子は叱ります。そこでイエス様は、弟子に対して怒りを現されました。イエス様が憤ったのは、福音書の中でここともう一回神殿の境内です。イエス様の憤りはこの出来事に重要さを与え、イエス様の御意志との鋭い対立を表し、神の統治についての誤解を明らかにしました。何もできない存在、身を守ることもできない、何も差し出すことができない者、何の業績も数え上げることができない者として、子どもは祝福を受けます。そして世間から軽んじられていた人に向かい「神の国はこのような者たちのものである」と言われました。	